

ご入学おめでとうご入学おめでとうございます。

市内各地で入学式。吉川小学校は30人、中学校は40人

市立小中学校で6日(ただし、城北中学校は別の日)、入学式が行われました。

私は午前吉川小学校、午後には吉川中学校の入学式に参加しました。どちらの学校も校長先生を含め何人かの先生が変わり、入学式の雰囲気もいままでと違っていたように思います。

吉川小学校の一年生は30人。「あるこう あるこう わたしはげんき あるくの だいすき どんどんいこう」となりのトトロの主題歌に合わせて入場しました。いつものことながら、担任の先生を先頭にして入場する姿(写真)はかわいいですね。

新しい校長先生は中嶋賢一先生。地元吉川区出身のとても真面目な方です。お祝いの挨拶では、「ふたつのお祝い」として、自分の命を大切にすること、友だちと仲良く過ごすことを子どもたちに訴え、最後に「元気に遊び、たくさん学んで大きく成長してください」と結びられました。歓迎の言葉をのべたのは関沢悠里さんでし



た。関沢さんは新入生にたいして、「学校には楽しい行事がたくさんあります。分からないことがあったら何でも聞いて下さい。早く慣れて楽しい学校生活を送りましょう」と呼びかけました。

吉川中学校は40人が新一年生です。こちらはブラスバンドに迎えられ、二人ひと組ずつが進行して入場しました。新しい校長先生は青木孝史先生です。がっちりした体格ながら、語る言葉はやさしく聞こえてきます。新一年生を代表して原佳実さんが「入学の言葉」をのべました。落ち着いていて、とてもいい挨拶でした。みんな頑張っていてほしいですね。

福祉交流プラザ竣工式に参加して

旧高田盲学校を改造してできた福祉交流プラザがオープンしました。3日はその竣工式でした。関係団体や来賓など140人を超える人たちが集まって竣工を祝いました。

この施設は、市民の福祉の拠点として、これまで散在していた窓口を集中。障がい者相談支援センターや子ども発達センター、地域包括支援センターなどを備え、日常的な相談業務にあたるほか、就労移行支援、日中一時支援、障がい者の就業・生活支援などの支援事業を行う、文字通り福祉の広場として大きな役割を果たすものです。式典では利用者を代表してC子さんが、「たくさんの人たちにこのプラザを利用してもらいたい」とのべました。

会場へは30分ほど早めに行きました。3階にある顕彰コーナー(写真右下)へ行ってみたかったからです。先日の上越タイムスは児童文学作家・市川信夫さん原作の映画『ふみ子の海』に

関するいろんな資料がこのコーナーで展示されていると報じていました。

目にとまったのは大きなファイルです。ファイルには各種新聞に掲載された『ふみ子の海』制作の記事や市川さんへのお便りなどがたくさんありました。映画『ふみ子の海』を

観た時の感動はいまでも忘れませんが、このファイルの中に2007年9月25日の朝日新聞夕刊に掲載された俳優・森繁久弥さんのメッセージがありました。「映画人のひとりとして『ふみ子の海』の完成を心から喜んでいきます。よくぞ作ったとエールを送りたい。：かつてはたくさんあった、あの美しい山や川を思い浮かべ、人の情けについて考えるときではないだろうか。：ラストシーンの浜辺でふみ子と一緒に『砂山』を唄い、失ってしまった日本の心を共有したかった」。全文を紹介できなくて申し訳ないのですが、すばらしい文章でした。

偶然とは面白いもので、このコーナーを出て2階へ降りる階段のところでも市川さんに初めてお会いしました。小柄な方でしたが、市川先生

「おはようございます」の声が弾んでくるように聞こえました。この日がやってきたことがうれしかったのでしようね。



【タチツボスミレ】いま、土手などで一番多く咲いているスミレです。朝日を浴びた小さな紫色の花はまるでチョウのようです。



春よ来い 第一〇三回 ベニコブシ

八日の午前十一時頃でした。病院から、「(父の)容態が急変した、すぐに来てほしい」と電話が入ったのは。市議選の応援で糸魚川市能生地区へ行ってしまったので、高速度道路で病院へ直行。病室に着くと、看護師さんたちが心臓マッサージをしているところでした。死亡が確認されたのは午前十一時五四分、私が病室に着いて数分後です。担当医に聞くと、痰がつかえたらしい。死因は急性呼吸不全でした。

父は今月の四日頃から熱が上がり、死亡した前日には三八度七分もありました。でもこの日の朝は下がりはじめ、三十六度八分になっていましたので、いつものように回復してくれるものと確信していました。

父とはこの日も朝の挨拶をかわし、五分ほど話をしました。話といっても、父の発する言葉はほとんど分かりません。分かるのは、「おれ」「たばこ」くらいなもの。ただ、こちらの言わんとすることはほとんど理解できていたようで、こちらから質問すると、首を縦や横に振って回答してくれました。

父との最後の会話は午前八時五〇分頃でした。「夕方にはまた寄るからね。さみしくてもがまんだよ」と声をかけると、父は首を縦に振ってくれました。まさか、それから二時間後に急変するとは思いませんでした。

わが家の庭では七日、ベニコブシ(紅辛夷)が開花しました。父の大好きな花です。この花を父はミニコブシと呼んでいました。家にいたころは、お客さんが来ると必ず、「きれいだねかね。おうちのミニコブシ見てくれない」と言っていた自慢の木であり、花でした。家族は言うまでもないことですが、近所の人や親戚の人たちも何人かはこのことを知っていました。

というわけで、私はこのところ毎日、庭のコブシを観察し、いつ花が開くかと待ち続けていました。わが家のベニコブシ開花のニュースは誰よりも早く父に伝えたいと思っていたのです。

七日、私は咲き始めたばかりのベニコブシのひと枝を病室に持ちこみました。「ほら、じいちゃんが植えたコブシの花が咲いたよ。きれいだよ」と言って顔に近づけて見せると、父は大きくうなずいて喜んでくれました。花はリポビタンDの小瓶に入れ、窓際のテーブルの上にかざりました。体を窓側の方に向けてもらったときには、父の目に入ったはずです。病室のベニコブシは朝の段階では咲き始めたばかりでしたが、この日の夕方には満開といたらいいのでしょうか、パッと開きました。父はそれを見てホッとしたのかも知れません。

父がわが家に戻ったのは一年四か月ぶりです。午後二時過ぎ、家に着くと、庭のベニコブシは満開となっていました。そこへ父が戻ったことになりました。この日は青空も広がり、ベニコブシの花がじつにきれいに見えました。気に入ったのは人間だけではなくありません。ハチたちもまたこのコブシの木の周りを飛び交っていました。車から父を降ろす時、父の声が聞こえたような気がしました。「おい、とちや、見てみる、ミニコブシがきれいに咲いているぞ」。

父が家に戻ってから、親戚の人たちが次々とやってきました。父の姉妹三人も翌日には顔をそろえました。「じいちゃん、いいときに帰ってきたね」親戚の人たちの間でもこのコブシが話題の中心です。十一日の葬儀の時、棺の中には父が好きだったものをたくさん入れてあげようと思っっています。もちろん、ミニコブシの花も。

介護保険、国に対してもっと注文を…平良木議員の質問

質問／介護保険事業計画は第3期計画をどう総括して第4期計画にどう生かしたのか。

市長／施設整備はほぼ計画通りにできた。アンケートでも9割の市民が満足している。

質問／待機者が千人以上いる特養ホームは、三年間の増床が百床しかない。サービス向上で保険料が上がるのなら、国に向けどうするのか。

市長／現状をしっかりと伝えていく。

質問／保険料や利用料の減免の拡充の考えはあるか。

市長／保険料減免は条例で定めている。利用料は当市独自に軽減率を拡充している。県内でもトップクラスである。

質問／他市との比較で満足すべきではない。利用料値上げでだれもが負担が厳しい。どうするか。

健康福祉部長／お金がないのでサービスを受けないということがないように、介護支援専門員からの情報を十分斟酌したい。

質問／介護認定方法の変更で軽度で判定される問題が



ある。

部長／判定結果に納得が得られるかに意を用い、不服への対応を積み重ねる。

質問／介護事業者への支援はどうか。

市長／市独自の介護労働実態調査を行った。介護報酬算定やケアマネ研修などの支援を継続する。

山菜料理を食べ、橋爪市議を囲む会のご案内

橋爪法一後援会では、恒例となりました、焼肉と山菜料理を食べながらの『橋爪市議を囲む会』を今年も計画しました。議会報告は約15分、その後は飲んで、語って楽しめます。ぜひお出かけください。

4月26日(日)午後4時から7時まで、代石の橋爪牛舎付近の広場にて。参加費は500円(山菜料理持ち込み者及び子どもは無料)です。お酒などの持ち込み大歓迎です。ただし、お酒を飲まれる方は、車に乗っての参加はご遠慮ください。事前申し込みは不要です。